行

場を

固安以西には全然敵影を認めなかつ、 とは 江上流臨江から固安に向つて北兵部隊に協力し、 退却中の敵軍に徹

が陸軍飛り

一後四時頃有力なる上

史に東進、敵を壓迫中

海口巨の

理视

の偉業を讃ふ

3

併合

奉新の敗敵混亂

が精鋭部の

らに東進し江夏南方地 見服して馮水渡河に成

(率新世四日漫園通)修水上 流對岸の六個師凡そ六萬の散 追撃により退路を完全に遮断 され、風風山、印子山(修水

異の敵軍を

海郵船倉庫の怪火

戦闘は強烈を極め去る二十日江島部隊の陳庄附近における縣、高木、宮脇、

開開始後二十四日現在まで

深軍、第十五、四十二師の傍 京軍の四側師で更に新部騒が が形を利し頑張無比の抵抗を 以下全員腰まで埋つて折柄の 以下全員腰まで埋つて折柄の 関下全員腰まで埋つて折柄の は、次本である、去る十一日農林 公南麓の王庄では岩崎部隊長 では、一日農林 では、一日農林

は宮脇部隊長が戦死するといっの高地で高木環部隊長(大中の高地で高木環部隊長(大中の高地で高木環部隊長(大中の高地で高木環部隊長)、大田の高地で高大環部隊長(大田の高地で高大塚が大田の高地である。

方棺材山の要害に抵抗せる敵に第七

揮を續け終士の士気は武寧縣は一歩も退かず最前線にて治は一歩も退かず最前線にて治は一歩も退かず最前線にて治

のほか軍需品多数を関係 はチエコ機銃六、小銃一 同彈薬八千、機銃弾三五

小统二百、

海鷲南支各

艦除推

情報に接した英國飛行騒響を終した英國飛行騒響と変した英國飛行日本の

六百を遺棄して潰す、

一千であつたが 一千であつたが もがね死體

日五十二

介勇忠 〇五社

山西

掃湯してなる のた鹿鐘離系の つた鹿鐘離系の でなる。 敵が集

大舟隊

撃を加へ多

直住に帰居する泊に亘り臨清南方士

栗 破南 死 方

性海兩 ありしかわがま で遊撃観法を2 で遊撃観法を2 なて震動しつれを根據としれを根據と 軍威激の握 全占領 迫十二 敗中 在の敵を驅逐追撃し、

軍時戰餘は廿四日午前十時**尽** 道部廿四日午後四時發表 = 海

大学の ・ とし、 ・ とし、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ に、 ・ に 、 ・ に、 、 に 、 に 、 に 、 、 に 、 ・ に 、 に 、 ・ に 、 に 、 ・ に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に

東頑强なる敵の 来頑强なる敵の 海軍江上艦艇な

立ち九時四十分陸軍○○部隊を完全占領したが、これに先

上海廿四日酸國通」艦隊報

怪潜 極東廻航中

てゐるものとみられ、ととない。

金銭は午後一時四十七分院で東京関連が十四日の衆議院では一段の十七分院

提出法律案三件を可能設法中改正法律案

時用五分散會都定確立に關す水産時局對策確立に關す水産時局對策確立に關す所提出の諸法律案に關す所提出の諸法律案に關す

して注目すべきであるしたが見りの観査を表した ▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲ 山山有松不大山川端富新遊山山栗鈴三能窪山中桐奧岡中畑 成田近本破家田江地永井谷西口原木浦登田地西原村田山惣 豐覺彌龍利福元養力順靜清專外百信源谷清湛正眞四實三之 氏氏聚氏輔市吉維男太二一次二松一七久市邀進一郎氏郎助

その日 く 2 の日 く 2 の日 く こと多し

頁院本會議

かなるのと鉄 自成は何處 る不 廿六

現實は悲哀へ、指導者たるべん

識を備し善後策に は直ちに總領事館 成中佐、工部局赤

文官試験の前に、もつと むべきものがあう

修富

營業

午午

削

八

醇

後

+

時

1 t

間

東北き

反面に、かんじんたま

日 H H 間 (月)(日)

0

③話電(前マネキ京新)町視 番三七五

出賣大附札赤全服吳物 賣大ゑらざ 返品返金御

用殿方 其の他高級品『赤札 名古屋帶 仙絣訪 地座 布 反 *--枚五 同 五拾七七 五十錢 Ш

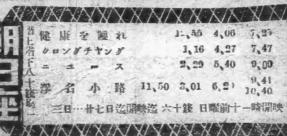
反 十銭より

特價品の

平常の御愛顧に酬ゆる為本を御待ち申し上げて居がました各産地本年の最新柄を豊富に差加へて是が、といる。

第一戦の人々 第一戦の人々 三十八日公開 小杉・乗主戦・田坂世 小杉・乗主戦・田坂世 か 告二 B

2755 4,55 7,5 6,00 10



11,00 2,5 6,40 日曜 作は 11,4 3,3 7,2 4日日曜 作は 4,50 8,40 日曜 空間 2,10 6,0 6,5 空間 映

豊楽馴場 聖京 演奏

郵便配達夫は盲

目も

金塊を密輸

員捕る

城內金商店

な手

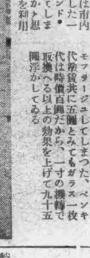
もあ

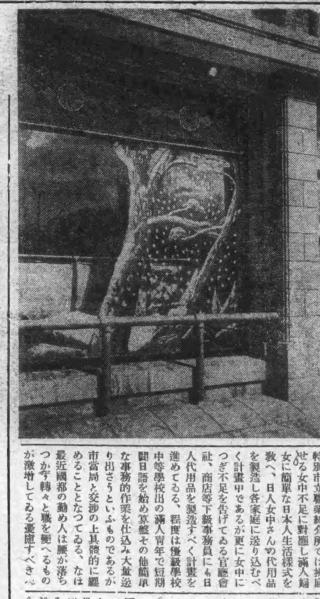
H

八女中不足なら

(=)

他学がしてある 地域から以上の効果を上げて九十五 ででは時間百興だから、一寸の機構で では時間百興だから、一寸の機構で ではいるの効果を上げて九十五 のが果を上げて九十五





特別市立職業紹介所では排底 | 駅に鑑ね、職業に對する求職 ケーズ足を告げてある官廳會 け避ける方針をとり人物理画のに となつてあるが、日人女中さんの代用品 萬全を期することとなつてあるを製造し各家庭に送り込むべ るが、慢性的日本人不足に對 金を製造し各家庭に送り込むべ るが、慢性的日本人不足に對 金を製造し各家庭に送り込むべるが、慢性的日本人不足に對 金を製造し各家庭に送り込むべるが、慢性的日本人不足に對 金を製造し各家庭に送り込むべるが、慢性の日本人不足に對 金

ランド 愈よ解放

見玉公園メリ

国都唯一の子供の樂天地としての施設を整へることになっての施設を整へることになっての施設を整へることになった見玉公園は本年度に於て子であるが昨年来好評を博してであるが昨年来好評を博してであるメリーゴーランドは修繕しなるメリーゴーランドは修繕

を猫婆 馬車夫、

用品を作ら 予阗)を發見した、直ちトから金の延栋三本(時

二十四日午後九時ごろ、中央 鳳作氏の妻女間島省延吉縣 寫眞機

夫の目

金 (三四)で

を盗んで **英学賢淑は夫の目** 新聞們街康德庄文 演と實際坐禪に

ル武道と禪小講演

三小學校卒業式

※習書授與式を舉行した ら各校講堂に於いて本年度本 ら各校講堂に於いて本年度本

組合せ決定 選拔中等野球

【大阪國通】第十六回全國選 大日間甲子園球場で學行されるが、その組合せは廿四日左 の如く決定した つ第一回職 (第一日二十六 日)中京商業對海阜中學、 高素對栃木商業 (第二日出十六 日)中京商業對海阜中學、

.

若干名

数の出席を希望してゐる

四中等學校卒業以上の學院を有し經理事務に経験ある内地人男子 | 七十名 | 144 | 七十名 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144 | 144

植公

社

寫真 館

内地人男子給仕募集 内地人男子給仕募集 高等小學卒業程度 一、其の他 身體強健志操堅固なる者一、其の他 身體強健志操堅固なる者一、年 齡 十五歲以上二十五歲迄

斡旋でけ

ふ北京を出發

始交

扇環

が更に本年第一

身各縣の新聞紙敷種を備へ、

ることになり

倫太郎氏は廿五日挨拶に來社新任参議府参議工學博士直木 直木新多議來社

委細面談

女子接客係

帝都キネマ事務所

島平街二一五装

東洋部の信用を博 最古の歴史と 顕新c設備を誇る

青年技術者を求む

新京ヤマト

ホテル

大工さんにてもよろし

衣

御靴の御相談ロタケヤ

カド・くに怒らせてゐる、誤響でさらでだに忙しい署員を暫でさらでだに忙しい署員を直轄に誤離される郵便物は一 真ン前の中央通署にまで

都の現状から見て頗る期待さ

社員連に家族

既のため西廣崎俱

歓迎する

さんの前

导染病保菌者

危險!接客業者に光る眼

防疫股では管

設数「神建て給ふに非ずば」 石川牧師 石川牧師

|教「神の御襲に導かるもの|
、夕拜 午後八時

一、聖書學校

午前九時四十

絢爛たる衣裳美の殿堂、

今春流行の主流さ

日非常なる御好評を戴いて居ります

日本基督教會

内に郷場

土室

俱樂部

身灰を脂で」一般多数來場を 閉催されるが演題は「健全な 閉催されるが演題は「健全な

首都警察廳司法科では最近城 行つてゐるものがあるとの関 行つてゐるものがあるとの関 いる本様で内偵中であつたが 時期不審の滅人一青年を折 杯張込ム警戒中の搜査股車別

展中百六十三名が満洲國の發展 に優しく差しのべられ、昨年 に優しく差しのべられ、昨年 に優しく差しのべられ、昨年 に優しく差しのべられ、昨年 に優しく差しのべられ、昨年

在支難民職選 中であるが二十 れて北京を出る となっ、中央

北支に赴き交渉

三上和志氏講演

「寫真は愛會式」

京汽艦土協會は愈よ路般により設立計畫中でもついた。大概題防止の突撃部隊と

(日曜日)

けふ華 協會 れ、何の氣なしに封を切った 等のことがあり、中央通署で は配達の正確について何等か の方法を講ずるやう郵政局に

時より首都警察廳講堂に於て 対の下に華々しく發替式を果 がした、式は設立經過報告に ないで村川市公署衛生職長の

れ等保護者を一般に、自僚を開催した、自僚を

長通路四五陳天寶 四一)長瀬路四五陳天寶 四一)

股数「神意と人意」 ・日曜學校 午前九時半 ・日曜學校 午前九時半

遭難遂に確認さる! 小平島東寄り佛門寺屯地先二ところ午後六時頃に至り遂にところ午後六時頃に至り遂に

十間の海中に同機の遺離を確認せる地断の捜査隊(上)と遺離を確認せる地断の捜査隊(上)と遺離を確認せ

內日本側男女

校あすから一齊に

参拝 神前早起會、右 神前早起會、右

右終って忠塔靈が、見玉公園誠忠

人服ファッションショ・

一十七日まで

會場五階半

ヤラ

あ

す

日の出を拜す集ひ

我に昇格した理事佐藤臘大郎 としては計員から理事旧徳裁 としては計員から理事間徳裁 をもつて嚆矢とし、社員の茨 望の的となつてあるが同氏を 中等學校では二一年末試験と慌た

たが、いよく (糖素に就任 となつた以上は自分も最後 となった以上は自分も最後

に要ったこともなく、大村をか、副総裁となっても別として開拓、鎌道の第一人者として自分は副総裁になったが、副総裁となっても別として自分は副総裁になったが、副総裁となっても別として開拓、鉄道の第一人者 る自紀一全佐かさ任鎌ふかやつん ・分別では ・分別では ・一会性の ・ののでは ・ののでは ・ののでは ・ののでは ・ののでは ・ののでは ・ののでする ・ののででする ・ののでする ・ののでです。 ・ののででする ・ののででする ・ののでででです。 ・ののでででででででででででででででででででででででででで

大村満鐵新總裁語る

新徳設は

る、自分は再三齢退したのあ、自分は再三齢退したのある、自分は再三齢退したので、私が懲款の方があったとて減難が行き方がしいことであかしいことである。自分は再三齢退したののというない。

御奉公さして



▲七·三〇國民歌謠(東京) ▲七·四〇講演(新京)於岡 三雄▲八·〇〇歌謡曲(天連) 東海林太郎▲九·〇〇掛合養 主なる放送 日廣場俱楽部正午

業 内

行 品 新 入荷

日、十五日は平常通り營業数してより營業時間を午前九時より午後

百

話 3 五三〇

都現代超特作

唄

琴舟野英治

主演

午前中旬十一時間映

六旗

権太大暴れ天下無敵!

杉山昌三九・水原洋一・水川八重子松山宗三郎・大乘寺八郎・琴 糸 路阿部九洲男・中野 英治・三城輝子

良

太郎

主演映畵

(三)

を給へし是非常

訪 九 た

っな

つかし

み働」常園の誇る生き

大船作品

マズバンドがあります。「ズに唄に踊に芝居に可蹤

やう常團には可愛い少女隣な舞台委に萬雷の喝采

演實

松竹

京都作品

大都映畵巨大作總動員出演

副

演奏

作名選入位一第祭畵映鮮朝

素

金

島

沈情

気づくであ

東坊栗毛の権太のヶ懸といぶに止まる、「女を関富に盛り込んだ大衆の第二により覧信に盛り込んだ大船の第二により電信を受けれ」は大船の新人た父子が和覧を作品である。「女子でき作品であるといぶ和解するといぶ新子、三浦光子、坂本武、「女子の関係をしてある。 安智楽等が共変を表してある。 演「内特、新る鷹田、郎人ニ衆劍

春座

異色三本立

階

引

寶 新京

特別市 百貨

廣告の御用は

右御希望の方は履懸書 十七歳よ 員 り二十三歳迄の方 募 集

携帶左記へ御申込下さい

見明凡太郎·村田宏

壽·星

U

か

女こそ家を守れ 日坪三 市村公三郎 酷^第回 久松三津校 路義人 井哲 この好評 書映るめし娱がんさ皆に當本
ンイのこづ先は曜日明!だれ

明!日曜は十一時開映。四十錢 日暮里子·吉谷久男·多木映彦 續 京 馬 嵐寬壽郎 天



ッとお役に立つい

→大阪汽糸

地商品市只

話の筋道が、通つてるる…

の間権大馬が、沼田の又五郎 一案の者に連れられて、遊び にやつて來た。

つてるたのだ。

大阪コンロへ

าการการกำกับการ

照空燈

外經濟電報

字之は、きびしい目つきで明下の場宿である…… 関下の場宿である…… 晝 木下 大雅·畵

『嘘も隠しもございまセンよ……それが、目あてで、私は 汎田まで行くのですから…』 いくら浅之助がふてぶてし く恥を知らぬ男でも。たつた ーと晩のとや代のために、宇 之をかついだとは思はれなか され、浅……その話は、間 遠ひねエだららな。権の野郎 るのか……』 なところで息をしてゐるのか ツて……へたツ、からツ風に 吹かれた蛙ぢやアあるめえし …人を馬鹿にして居るぢやア ございませんか……組さん、 超さん……あの済みませんが

『おい、淺……その話は、

護助の家では、健端で、

今日の幸運をお試し下さい

傳賣出了

只今賣出

中

吉堅甲一丁目.. 電話35977.5604.4208

▲大阪棉布

入七六五四現 人七六五四現 七六五四三隻 七六五四三先 七六 月月月月月 ●月月月月日 ●月月月月日 ●月月日月月 ●月月 云烟艇艇座物豆腹腿腿腿板板底腿腿腿及大大

電業 技店電社外灯の電線芯橋報舗ひます 店業 支店

上成店年拜 就證の距を券進の

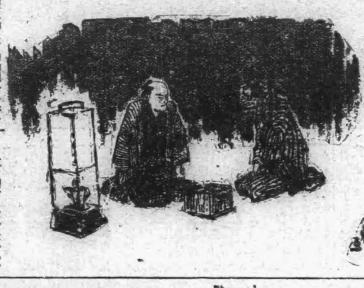
藤本ビルプロー

引所

ニ ユ ー ス 3,58 山 中 小 唄 2,48 天下の副將軍 前館 11,40 3,40 天下の副將軍 後篇 13,47 4,49 6,3) 6,50 7,43

滿州國に於ける代表者 新京支店。支配人

京



一その時、機大郎さンが話してゐたのが、先刻の、お侍さいから、私も驚きました。……だから、私も驚きました。……だから、私も驚きました。世 よく家を明けるぢやないか』 早之は、伯父の變助の顔を 見て笑つてゐる。

(日曜日)

です……」
・と、笑つた。
と、笑つた。
と、笑つた。
・される、おのですかいらい
・たれる、お前の特権大策だ
・気になるなら、この
・たが……」

各地特産市况

ペティ稲田 カリフオルニヤ洲生れ 念々明日限 加多别特 豐 牧野狂二郎 劇

合、トロール船一○隻を動員して製作せる。機高射砲十五門 高射機關銃一○挺、 照空階の想定の下に陸滌軍部・東部防衛司令部。の

本邦最初の大防空映畵▼ 二十八日 五臺、 國防自動車二〇〇 二十八日 三十八日 三十八日 三十八日 三十八日 三十八日 三〇特別援助と指導を得て重爆機五〇機戦闘後三〇 勇 杉 小子起 夕轟 郎太凡明見 彦 明 山片 0

同時封切

12,60

東州 ・祭日部ロッバの ・祭日は土 ・祭日は土 而動



(-)

を掩護する砲兵部隊

十二年度第一般網企

(日 曜 日)

垣曲猛爆

陸鷲、山西省

難問解



頁二十刊夕朝紙本 水松寸 加亚

江北戰

九日發國通 マスト 大 東岸地區 安陸街 安隆街

等和一八、防衛 使兵器 = 小統一 性長器 = 小統一

、昭和十二年度能入就出行を採決、建議集に紹介せる民政)を議場に紹介せる民政)を議場に紹介せる民政)を議場に紹介せる民政)を議場に紹介せる民政)を議場に紹介せる民政)を議場に紹介せる

下の用意と失望は深く、#エリ外交官を追慕し哀悼の意を表し、 いづれも今は亡き偉大を 「東京順通」杉村大使の逝去

佛大統領より 被特命全権大使 世三位(特旨を以て位 が 村 陽太郎

の武寧 部隊 印編發 刷報行 人人人

下降生西北方凡七三キの萬壽 地震が軍は廿五日朝来陳庄 四方山岳地帶に敬職を展別し 山濱、岩崎、江島、原田、肱 山濱、岩崎、江島、原田、肱 用平鎭の残敵潰滅

航空部隊の猛爆と藤村部隊の 「陳庄廿五日發閥通」白濱、 「陳庄廿五日發閥通」白濱、

として修水河

(徐州廿五日穀関通) わが軍の迅速果敢なる各地掃蕩潮清 の一部は淮安方面よりわが軍の一部は淮安方面よりわが軍の限を巧みにかすめて宿縣西 の一部は淮安方面よりわが軍の限を巧みにかすめて宿縣西 の限を巧みにかすめて宿縣西 でいる。 東京領別近一朝 南平鎖附近一朝 市平鎖附近一朝 にこれを邀撃猛 にこれを邀撃猛

大 これで農事日程全部を終了した」旨を宜し四時州九分散會 「東京國通」最終日の衆議院 本會議は廿五日午後一時十分 本會議は廿五日午後一時十分 下

「東京関通」 畏き過りでは十 四日逝去した特命全権大使杉 村陽太郎氏が生前外交界に豊 九たる功勢を思召されて、十 五日左の如く特旨叙位の御沙 次あらせられた

特旨敍位

日有田外相に宛てルプランナ

杉村大使の逝去に劉し深甚な

杉村大使の逝去に劉し深甚な

氣益々昂

心脈を夫々奇襲し、各々市街田部縁の○機は廿四日脳安、 潞安、沁縣奇襲 原

獨の進出に對

波態度決定に苦慮

外相がロンドンに乗込む豫定
ボーランド政府の態度も漸次

《し必死の防戦に努めてゐるが、廿五日のわが猛撃に流石の頑敵も逐次崩壊、既に一部は武寧對岸南市に護河後の據點たる武寧をあくまでも固守すべく天惠の地勢に嫌つて頑張なる抵抗を試み、修水南岸より線々援軍立日州東武寧四邊の波狀高地を利して構築した武寧防禦の敵最後陣地に迫つて猛撃を加へてゐる、敵は修水を浴びせかけ激戦の後頑張を極めた數千の敵を撃破、ついで一帶の高地を占領引艘き夜を做して敵を西方に期し折層風速十五米の烈風を衝いて來援した○○部騒と協力、武寧北側の陳庄西北高地に向つて旺んなる一期し折層風速十五米の烈風を衝いて來援した○○部騒と協力、武寧北側の陳庄西北高地に向つて旺んなる一

の損害を與へ全機無事歸還

任大使館参事官 トルコ園在勤仰付らる 中村 里一 通商局第二課長を命ず 命調査部第五課長公仲館一等書記官へスペイン 調查部第四課長

> 佛外相の訪英に伴ふ英佛 ソクス外相を訪問、ボ氏は廿四日外務省にハ

ヒトラー總統

十八米の烈風を買し敗敵を 急追し上空より随所に多大 の打撃を興へたり こ、廿四日各隊は土氣いよい よ旺盛にして追撃ます 急なり 外務辭令 (中間) 東京國通 東京國通

「「○○基地廿五日遼國通」わが陸の荒鷲山口部縣○○機は 竹五日午前七時半勇躍出動、 黄河北岸、山西東南部の要衝 八亞議會無事終

全議案通過成立

たはばその語ふ重 めまな今場に、大 にすら後場お今時

り、その内容の紅何によつてと民職線側の提示した條件に對する人民職線側の回答を待つてを対側の提示した條件に對するればブルゴスではフランコ政

一事業法案

委員長の

十四億九百五十萬

豫算總額

新部令公布 よりの輸入については一 のご入

管理法に基く臨時指置に関する件」が公布されたので經濟 部では廿五日部令十一號をも つて「緊急生産品の輸入に関 する爲替管理法に基く命令の 件」を公布し從來の「對獨爲 を放前に関する件」を廃止し た新部令の大要は左の如くで

元件の内原案可決、法律案は八十五日た、即ち職算案十四件は

東京國通』昭和十四年度後 は世四日貴族院本會議における第二號追加豫算の成立を 以て全部成立を告げたがその 内譯は左の如し〈單位千團〉 一、一般會計本豫算 三、六九四、六六六 一、第一號追加豫算(陸海 軍斯國防計畫豫算) 九一〇、五四三 九十〇、五四三 一、第二號追加豫算(交治 各質整費)

十四年度の實質で

既日はでる 設本國あの 會電産をは本 社工原が日告

貴院本會識

上海總領事館

アジア・ホテルで事

間

午後十一

時まで

・ドイツ生産品を輸入する場合は左配書類を発験長に提出すること 一、ドイツ生産品なる旨の輸出者の保證を配載せるインボイスの寫 管独令に基きライヒスパンクの原本受領證明の 管独令に基さライヒスパンクの原本受領證明の を関本を表現の意にしてライス また関際聯盟事務總長アブルド氏よりは杉村大使の夢れた、尚アンリ・駐日大使は 村五日午前十一時外務省に有 田外相を訪れ、政府の訓電に 板る公式の弔電が届けら 全服吳物 賣大ゑらざ藏

0

③ 話

其の他高数品「赤札附」 用殿方 名古屋帶 訪 地座 仙区 禁用十銭より 着 布 本一 枚五 十銭より五 四回也 五十一经也

特價品の

非皆々様の御好評る新柄を豊富に差加 中常の御愛層につい 祝町「聖徳太子堂」 來を御待ち申し è 0 3

廿六日 七日 二日間 (月)(日) ゴミ

八時

事もなげに答へたのに時宗ぐつときて一場すれば國師はマー場すれば國師はマー場すれば國師はマー場が現れる▼生命は断へず生成する内に庭剣と至誠あらば外には石と鎌と相撃つとも必ずやである▼生命は断へず生成する内に庭剣と至誠あらば外には石と鎌と相撃つとも必ずやのが現れる、人生は井戸の様 (語) 大郎時宗は急遽の 大郎時宗は急遽の 大郎時宗は急遽の できかを問ふた できかを問ふた

健来「對獨爲菩続制に関する 体」により諸般の手續きを處

所代表との間にマドリ 脚の申出によりマドリ

兩政府間に折衝開始 リッツ

なほ四月三日にはベック液間 の成行きと関聯し英國側の意 になるのと見られる のは行きと関聯し英國側の意 ド開城

マッテュランド號に搭乗、十 マニンデ港到着直ちに特別列 でベルリンに向ひ正午晴れ の凱旋をなした

國務院會議

政府は廿五日午後十一時臨時機務院會叢を閉き、左記議案を審議可決した。
「國立大學哈爾濱學院設立不要納別事學過株式會社設立要制動事學造株式會社設立與制制事學過程學院設立「國立大學哈爾濱學院設立「國立大學哈爾濱學院設立「國立大學哈爾濱學院設立「國立大學哈爾濱學院設立」

(返品返金御自由)

を得たるに止まらず、その託 された本分に對する背叛であり、その意味に於いて國家社 の、その意味に於いて國家社 の、その意味に於いて國家社

津浦線晴

四月一日より直通列車運轉

維新兩政府首都結ばる

(北京廿三日發國通) 京漢線 (北京廿三日發國通) 京漢線

おれく一般にはない、よりにはない、より

に呼應して襲東局に於いてよ 制規則を制定これに協力する こととなつたが、関東局では こととなつたが、関東局では した した

關東局當局談發表

酒稅法の改正公布

波蘭軍に

動

員令

イッのチェコ併へ イッのチェコ併へ イッのチェコ併へ

說

產業部當局談

加藤物流會社、東洋棉花

雅 会 社 會 社 格 社 格 社 格 品 、 日 本 格 名

現在市

全面的に

ヴァ

きの ふ公布施行さる 統制法

正事件があつたことが判り、 伊ひ精製品の融入制限に 上かもそれは日来官吏の不祥 で、政府は昨年十一月続個要事件であつた。これは基だ計 で、政府は昨年十一月続個要 で、政府は昨年十一月続個要 で、政府は昨年十一月続個要 である。しかも日本人は満州 で、政府は昨年十一月続個要 である。しかも日本人は満州 の見地から関東州でも同一歩 である。しかも日本人は満州 の見地から関東州でも同一歩 である。しかも日本人は満州 の見地から関東州でも同一歩 のやうな事件の設生したこと 格の安定が期待される、同法 付まことに痛襲さるべきであ の 骨子は大要左の如きもので はまことに痛襲さるべきであ の 骨子は大要左の如きもので ある。 の 骨子は大要左の如きもので ある。 の 骨子は大要左の如きもので ある。 の 骨子は大要左の如きもので はまことに痛襲さるべきであ にも實施

ては仍從前の例に依る

古田前多議

五、第二十五條第四項中「酒」

| 万一日より|
「一日より

皇帝陛下には今回退官した多 総古田正武氏の在官中の功績 を嘉せられ動一位に叙し柱國 を高せられ動一位に叙し柱國 た、親授式は廿七日午前十一 た、親授式は廿七日午前十一

五百噸の資込ム契約を締結し 五百噸の資込ム契約を締結し のた残敵に對し島協軍に然に各地區において脈が 各地の計匪狀況

對蔣武器賣込み

外人貿易商の策動頻

軍備强化に

解成る

す



國訪問記

新會社の設立決る

大同公園前の職場を解放せよ(健康生) たんが昨年の書泊つ、大同公園前の職場を解放せよ(健康生) たいまたある時は天長師當日 が出來ることやら、大同公園前の國際ホテル用地 だ、あすこは夏季浦人向約涼 ぐらされ門には錠が大同公園前の國際ホテル用地 だ、あすこは夏季浦人向約涼 ぐらされ門には錠が大同公園前の國際ホテル用地 だ、あすこは夏季浦人向約涼 ぐらされ門には錠が大同公園前の職場を解放せよ (健康生) たんが昨年の書泊つ

滿洲電業定時總會

下半期利益金四百八十萬圓

和・におけるロン油脂週況左におけるロン 支へられ

付場高に 胸五十

三銭と辛守 齊不好に稍

きのふ定時總會開催

理事長火災災日 清洲採金定時總會において石がその要旨左の如くであるながその要旨左の如くであるる際議を経て満洲産業開設なるの基線に沿いで不高線を経て満洲産業開設なるの基線に沿い従来の産金五ヶ年計畫の積極的修正が行はれたので本社においてるとの表線に沿り従来の産金五ヶ年計畫で被衝向の傾重なるのを発行者産に適助版することになったが、等勝力力

金會社

協定の要點 では、 アーマニア大豆は品質悪く生産額も十萬糖足らずで問題にならない、然しドイツが自粛の勢力範圍内においる満洲の競力を全圏するに高いな大豆堆産のところドイツの需要量ものところであらうが、現在手となるであらうが、現在手となるであらうが、現在でところでイツの需要量も自然増加があるので満洲の関内に近い。 アーマニア

~ 入ムパルア語豪・

愛坂有・すびえらあ付野 きつ書説解の筆員生先輩

では日本より徳べて取り入れ では日本より徳べて取り入れ では日本より徳べて取り入れ では日本より徳べて取り入れ では日本より徳べて取り入れ の事だ。

楽洋のドーコレクンキ

なっては、大なでは、大なでは、大なでは、大ななでは、大ななでは、大ななない。

汽克晉 来五型、が推開に過大 の風、が推開に過大 力に通動大力を 力に表情液 後初中 の獎推御談絕威權諸 盤定決 九第!

オ

東莞製糖工場





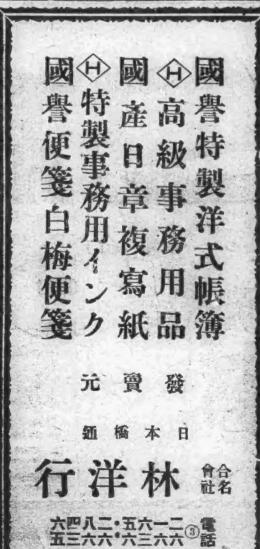




ツヨ・ンゲイ

獣立國ク







ひ丁さい、これを切る

神經質の素地を
着も容易に領付くことが出來
者も容易に領付くことが出來
をません、では神經質の子供と

を離する犯罪者とまでなりませんです。これが見進すると大人でいふ所謂變質者となり、世です。これが見進すると大人でいふ所謂變質者となり、世で著者に依り扁襦腺やアデノて臀者に依り扁襦腺やアデノしても一向によくなりませんというに神経質の子供の粉末

初乳はこんな働きをする

▽特殊成分を含有

は小牛の肝臓とほうれん草ない。 かもの3中には鎌分のみならの3中には鎌分のみならの4年には鎌分のみならい。 さらいいは含有量が多い、その量は一いです、初乳には〇、五九ミッグラムと云ふやらに殆んど十十五倍に近い量を含んでゐます。

たとへばデァテルなどがその一例

といふと

一週間後あたりまでに分泌するお乳のことをいふのです、 がこの初乳を普通のいはゆる 成熟した乳と比較した場合、

は〇、三一大を含んでるます ・ は〇、一二六キリグラム ・ は〇、一二六キリグラム ・ は〇、一二六キリグラム ・ は〇、一二六キリグラム

分 直後の繊維値を防 直後の繊維値を防

せらが生れ付の顔形はどん

なにいやでもやたらに そんな方々はいたずらに 動をお咲きになるより、む 動では大には行きません。 ・ 却つてなさっては如何 ・ では大にお顔の缺點や またっては如何 ・ では大にお顔の缺點や をあげることさっ出来ま またように をおがることさっます。

(類) 方や低くて丸い方 小鼻の過まで鼻の隔脇にアイ シャドオを薄く引くか、その 部分だけダータな白粉をつけ で、目頭の脇から は、目頭の脇から は、目頭の脇から

(《)大鵬 (《)夜鶯 (本)郭公鳥 (本)郭公鳥 (本)郭公鳥 (本)郭公鳥 (本)郭公鳥 (本)郭公鳥 (本)郭公鳥

五、軍樂演奏件奏

海軍へ樂隊

午後一、東京

黑子.

そばかす・後れ毛等

ろは目立たせますと長い感じになります、皮膚の綺麗な人のほくろはつんとなり勝ちない。 これはそばかす、これにそばかすの色に近い濃い色の白粉を白田です、洋裝の人は強以ての外でせう、これはそばかすの色に近い濃い色の白粉をつけてに近い濃い色の白粉をつけていかった。これが保護色となってそばかすを目立たせずなってそばかすを目立たせずなってもでかった。

立ちによつてははつきりした 層を作らない方がよい場合も あります。つまりお顔の造作が割にぼんやりしたやらな方は、上の方だけ綺麗に刺つてまぶたの方は、そのまゝぼやくと生やしておくのです。

立課

家の主婦や、外出を もから、特に忙しい でしている。

餘分なも

つかみを入れでかきまわし、 郷強油一合に

の洗濯は素人には離ってしまひますし、色物 はげる惧れがあります はげる惧れがあります

たい、 だいたタオルで手を拭いて、 だいに手にはめて、 普通手を洗ふ 時の様に雨手をもみ合せなが ら汚れをおとします。からして揮蔑油が非常によごれたら 更に新しくして繰り返へしま す。そして最後にぬるま湯で

第二に その他の方法 第二に としては揮發 かがけで洗ひ、その後メリケ ン粉を皿に出して、これをつ これをつ

(日-曜-日)

眼を離さないで

新しいランドセルを背に「行って参ります」と勇んで出掛ける初入學の日が迫つて参りました。これまでの家庭といふ特殊な環境から拭け出して全く新たな生活に入つてゆくこれら就奈見童のいたいけない緊張をみるとき、父兄は此い緊張をみるとき、父兄は此い不の中で最も注意して欲しいのに神經質の素地ある見違ののに神経質の素地ある見違の

は で表はれず潜在してゐるので で表はれず潜在してゐるので

(生) がお顔で一番無駄とれる考へ様によつては愛嬌をつけるため人工的にピューティ・スポットなんてものを助りつける位ですからまんざらでもありません、殊に長いつきり浮んだほくろによつては愛嬌をですから至極結構なものです。すつりお化粧がすんでから眉である人に長さの錯骨を興へますから至極結構なものです。

ますし、額に撤のおったり、前髪を薄くたったり、前髪を薄くたったり、前髪を薄くたったり

生) さり無駄扱ひになさらないで下さいを利用してカールを作つ は、廣いおでこもかくせば、廣いおでこもかくせば、廣いおでこもかくせば、大切に撤のおありの方

出來損ひの御飯

の方 「三度たく飯さへこわし、や すが、そんな時には出来る ながくことは伸々むづかしい なと煮えのご飯が出來た場合 ことで、一寸消断をしたゝめ もしらつかり水加減を誤ると か、湯をふきこぼして心のあ ことで、一寸消断をしたゝめ には、御飯一升分に對しても やわらかすぎてお客の様に 酒を杯にっ下、

湯の大事な常識でせ**う。**

無げくさいのは本 生を吸ひ取つた時は、 生を吸いた時は、 ないで高すと直りま で高すと直りま を吸いた時は、 ないであります。 ないのとは ないのとは ないのとなります。 ないのとなります。 ないのとなります。 ないのはながらない。 ないのはないのはない。 ないのはないのはないのはないのはないのはないのはないのはないのはないのはない。 ないのはないのはないのはないのはないのはないのはないのはないのはない。

もしらつかり水加減を誤るとか、湯をふきこぼして芯のある生煮えのご飯が出來た場合には、御飯一升分に對しておには、御飯一升分に對しておいるがには、御飯一杯が二杯ぶりかけ

を歩度計(歩くたびに針が動く仕掛けになつてるるもの)によつて、数名のサラリーマンの家庭の主婦につっりーマンの家庭の主婦につけたでは、まったところによるとといる事がわかりました。まったですから奥さん方の仕があった。これを担ばで、家の中にみてこれだけが、まっから奥さん方の仕があるとのですがら奥さん方の仕があるとのですがら奥さん方の仕り

0

季節の

メモ◇

て水氣をとつたら、

革手袋の洗ひ

日陰の風通しのよいところに 干します。そして十分乾かぬ うちに二、三度手に通しても めばよいでせり。メリケン粉 を入れるのは汚れをとり易い からで、食パンでこする様な 数果がある譯です。

◆三中井百貨店 ◆第六回春の資出し ◆第六回春の資出し 豆

女は樂だ』 こんなに忙しい事を しやるな

六間)歩くことになります 合計二千八百五十歩(九町廿町)夕食に二千歩(九町廿 步度計 カギ 證明します

一日の全歩数の三分一以上が数と比較してみますと、

場六千步、 距離

を後に吸ひ取るためです、そしてこのメリケン粉は乾いて からブラシをかければよいの です。後の處理としては革を からするのと、艶出しのた ノを塗るのがよい

時に外出する仕事をもつ人はです、またデスクの仕事と同です、またデスクの仕事と同

經濟的な使ひ方
が、前身よりも長くなつてる
が、前身よりも長くなつてる
ます。これは、カラーの切れ
た時に、この後からカラーを
ともためにあるのです、日本
人は、減多にそんなことはし
ませんが、それでは後の長い
のが無意味になりますから、
これを利用して、充分にワイ

ない。 ないでは男子の想像以上で ないないで、炊事勢適の ないないで、炊事勢適の 四千歩位は歩いてゐます
町で、外交員などは一日一萬

を臭さんの一萬三千 がに比較すると、主 がに比較すると、主 シャ 7

(層) 比べて、かなりい

所 (一月一日) 即 (一月一日) 即 (一月一日) ル (一月日) ル (日) ル (日)

温 廿二 六新M (日曜日)

ふ 0 番組

支那家畜史

数かくするのと、
動出しのたい
めにワセリンを塗るのがよい
のですが、それには脱脂綿に
ワセリンをつけて火にかざし
よく溶かしてからガーゼに包
んで手続にこすり込むのがよ
いでせう。この時注意するこ

※ (イン) ステール (イン) 本語 (イン) ステール (イン) ステール (イン) ステール (イン) ステール (イン) ステール (イン) 本語 (イン) 人會館より 思ひ出 夢

ゆりかご曾見 の少年少女

んありかた

三笑亭可樂

三五 (大阪)

一、總領の基六

江屋

◆講談社の繪本、最近號は 菅原道眞」「花づくし」 養書と出征美談」「タノ イー年生」の四册、各五・ 銭である

談社の



月一日)

では牛の初乳は法律で販賣を 禁じてゐます、それはこども が下痢をするためですが、或 る人がこれを誰に食させたと ころ、 医卵敷が供然増加した と云ふ實験成績を出してゐま 長期建設には先づ健 保健にはスツボンホルモン葡萄酒 金蒲主要都市百貨店及藥店にて販賣 を召し上れ 會





136日 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

東田 本 神相成度し (保)

現代詩の見本

な人は愛國家であり賞を信ずる。彼は常規に服從ある。彼は常規に服從ある。彼は常規に服從ある。彼は思臣妻士の人物である。確認思妻士の人物である。確認と妻士の人物である。確認と妻士の人物である。確認と妻士の人物である。確認とない。彼は食いてやつた。

ではそんなものか、 はそんなものか、 はそんなものか、 はそんなものか、 はではそんなものか、 はではそんなものか、 はではそんなものか、 はではそんなものか、 はではそんなものか、 はではている。

○財界春秋(二月號) (東京市麹町區九段三/一九、財界春秋社、五十銭) 「ベルブの話」その値へ 「ベルブの話」その値へ

磁人組るめ関が者間

大邵年

收戰支那

の記録

元旦の郵便集配人は忙し

お蔭で無事男兄出産

曹茂縣石倉はな

時職争が直かに対してあまりに感響した人は、私が傷道徳と虚がこのために演いを受けてあると言ふ、そして自分が貧乏して月一分八厘の情金をせずにゐられなくてもも、多くの目上にはいいことをしてもったのは漢してゐる、この複雑ない。しかし店の主人である、私は當当にはいいことをしてある。この複雑ない。しかし店の主人である、私は當時が直ちに始まる。

元気で能のてるます。 を深く膨巣して高ります子供も を深く膨巣して高ります子供も 大時中里で安蔵しました。 經不順が治る

か? か? だうしたらいムの か? 私は奥地に一つの店を持つ がる、とかし或る種の禮教別 にて以來當然私が得べき權利 を享受してゐない。人はこの

は が でした いめか の 今だた 歌歌 ちかち 月秋か 一郎 りかち 大阪市東碇川 たみ子

りお放送戦で実神なが戦戦ですのから来も使用して四ります。おなりました。十遍分を代明でお送い 版・子解・子解・社社と関
が、子解・社社と関
が、子解・社社と関
が、子解・社社と関 病芯まで







ノよさ甘の産業のアビム (通常る降雪) の子校三峰高(筒片)

榮養總動員·乳酸滋强飲料

出勤だ! 康秘訣。 アー杯!

心勵ます坊や の軟流 呼

安心野由

丹頂チッ まるところ PARCHO 8 丹頂

ン評好大名に実空の方人健康 品真社会式株水香糖金 元資源メリトーナへ批判

粉末昆布茶の雄 お茶と茶道具の店 F. 新京古野町一丁目

丁園

85-HP

包米 大豆 粱 元 豆 豆 豆 粕 油 合

費さる

い健康の生

國の力の本となる

元旦の朝日は神代の光だ 元旦の家は明るく笑ッてゐる 元旦の不供は泣かない ※ 元旦の言葉

北滿の移民婦人へ

最も適切

な慰問品

乗いたし を が は に あります に あります

元旦の月は日の丸の国族だ元旦の手紙は年賀駅ば外が

元旦の基座は雛人形のやうだ 元旦の夢天は銀色の舞台だ 元旦の放送はジャズを忘れて

る方は更に一分を用るられる方は更に一分を測したの。 を変って下さい。その影問で、日本の が、影で何十度の振耀で、日本の を変って下さい。その影問袋に は、われ等の姉妹の優康と王道衆士養設の 素を民の要女たちへも、慰問袋 を変って下さい。その影問袋に は、われ等の姉妹の優康と子の がを奏する命の母を入れて姿。 で変って下さい。これこそ実しい要 で、日本の を変って下さい。その影問袋に は、われ等の姉妹の優康と子の が変奏する命の母を入れて姿。 で、安全た内地にあるわれ等の の変談でする同類愛の経露で

人病の全快 一球にこもる 私

感激の栗効ノ 子供ができる

する乳酸カルシウム カルビスじゃない! 美味しいばかりが るのがカルビスだ! ピクミンの張りこも 動勞者を愛見を妻を

大連市手代田町三六

ノ式鎖連いなく痛

置装グンリプス

狀網面裏

受

解

消

福音は

「エデ

7

ン商會」

が聴えますぞ

耳の受難は忽ち

昌

6

の弄王天阪大

色白く若返へ

3

シバニ后線本舗製造

人夢エキス配合の 誇るべき

(-53



コールドクリー 化粧料



大阪市南区塩町

電話風船塘四九汽。

からで

びてくる

比の

帶面港間港

の事物にあるとのない。

時はない。に数

疾を症性か

3 2

苦痛と疲勞がを 店 服用が出 元氣を旺盛に 大

仕これは出

藥科眼の評好來近



多忙なま、にどうしても眼と酷使 まる産業人に、近来、被れ目が非

多忙な産業人

Mit. 8

一たんにて常にコキンコキンと橋ひ人

結関なやトラホームも軽快します。スマイルを毎年数回點眼すると目 一つさせて居る人等が如何に多いこと 光が眩しく凝の出る人、目をショボ 粘膜炎やトラホームも意外に豊つ て居ます。

野を関して居ります。

じ、また動の後に入れられて好

結膜炎が多い

使れ眼から結膜炎になつたり神器衰弱 を動すと疲勢がスーツと軽快して眼の を動すと疲勢がスーツと軽快して眼の を動すと疲勢がスーツと軽快して眼の

適散角龍 容 (部 歌)/ 耐病にて常に力なきせき出る人(部 歌)/ たん臭氣を帯び時を血の混る人 萬皇 び一老人又は病人の疲勞性のたんせき 思ノ百日せき又ははしかせきの小見 歳 軍 流行城門より起るたんせきの人 現 所 りがには 配 東京市神田區最島町

世界の福要都市に世界の福要都市に 心臓性の *

V **全** 各類語にあり

++

大四十八四十八四十五日日 日日 分分分分分

酸藤井得三郎商店 無標東京ハー省 8558

らくせき類に出で夜中オテオテ眼像る人 息/ぜんそくにてゼイゼイ息切する人 六日來京、松岡前總裁は廿、離任挨拶のため打揃って

日割

電楽ー満洲國 今五日電楽ー 一満洲國 今十日新京俱―電々 今十日電楽―電々一日新京俱―電々 一満洲國 今十一日新京俱― 電楽―電々 4十二 日電楽―電々 4十二 日電楽―電々 4十二 日電楽―電々 4十二

足き母たるべき青少年義勇隆力を織め、

闘取のサラリー

協會が公表

及き母たるべき青少年義勇働配屬の寮母は昨年秋應募者動配屬の寮母は昨年秋應募者動配屬の寮母は昨年秋應募者動配屬の寮母は昨年秋應募者動配屬の寮母は昨年秋應募者動配屬の寮母は昨年秋應募者動配属日本國民高等學校女子部において約一ヶ月「大陸の母」たお、何れも近く卒業するのたが、何れも近く卒業するので第一回渡浦寮母部歐廿六名で第一回渡浦寮母部歐廿六名ので第一回渡浦寮母部歐廿六名ので第一回渡浦寮母部歐廿六名ので第一回渡浦寮母部歐廿六名

松岡前總裁 皇帝陛下に觀見

智を開始、春のリーが戦に臨 にて網祉係にて取扱つてゐる 整師頭に立て二十六日より練 普通會員券の前賣を開始した、 樂部は內地直輸入の新進强黨 接會員券の前賣を開始した、

電業、電々阵容競つ 春 の球座開幕近 張切る

潑剌.新京俱樂部 川(投)と大の竹内(捕)以下箸野(投、鹿兒島商)と野(外、大分商)を野(足島商)を野(大分商)を野(三曇・大分商)を野(三曇・大分商)を野(三曇・大分商)を野(三曇・大分商)を野(三曇・大分商)を野(三曇・大分商)を関する。 て居るに對し

早くもけふ練習開始 外野手△三上豐治(同)投 手△山崎治(京阪商業)外 野手△加藤義男(較早商業) 三韻手△中田利男(富山商 業)外野手△岡富士男(松 山高商)遊駅手△金子(横 預高商)投手△川井眞一(預松商業)外野手



首

願上候出不相變御引立御用命の程奉仕り候間不相變御引立御用命の程奉

和吉年十二月卅一日現在

T. E.





5生活必需品配給 總務課 庶務

洲重工業開發株式會社

變更與

祉

端赤の経営に移つた新変整座 と生部大臣代理、張社會司長 と生部大臣代理、張社會司長 がら關東軍々響部長、孫 がら関東軍な響部長、孫

同で授楽参観の後祝宴を行ひ、祝電を創讃して閉式、來賓一

新京 學 啞 學 院

限引揚ぐ

一懇談會

株式名義

株式の名用の名目

學校) △長道路 四道街署(同二

義勇隊の郷愁慰める

待望の大陸の母

來月二日愈よ着京

春植える草花 種子を頒ちませ 新京園藝協會で

に株会返還提訴に、株会返還提訴を持たる情報を持ている。
「本語」の背任刑事を件は最に率天氏の背任刑事を件は最に率天氏の背任刑事を件は最に率天氏の背任刑事を件は最に率天氏の背任刑事を付いる。

入反假

替制

さ現地各訓練所に向ふこととは来る四月二日のぞみで着古はなるべ

宇都宮から 花嫁が來滿観祭

を協會が角界明朝のため廿五 を協會が角界明朝のため廿五 大來昇給制度は暮内、幕下區 別なく勝越星一に金廿五銭あ がりで大阪場所では宍百力士 がりで大阪場所では宍百力士

前機裁迎へ

京武道大會申込あす迄延期第三回全新申込あす迄延期

上刀劍店寄

新代表職番號 3 六九一

変を水む 二間以上の社会 三十月 が房附 宅向家屋

・ 能等・者(内地人男子) 若子名石希望者は来る三月二十六日(日曜)午後一時目標情携帶來耐相成度

BALLERYNIKKE BALLERYNIKKE BALLERYNIKKE BALLERYNIKKE B い季節の服飾品です!春を樂しむ服飾品で

SOLLERY NIKKE BOLLERY NIKKE BOLLERY NIKKE BOLLERY NIKKE BOL

KJ

省社

その日、座長の戯代松が、 学屋入をしてから、香鳥が自 分の鏡台前に座つて、しきり に序幕の出のこしらへに急い で居た。 で居た。 で居た。 がの音がチョン (と) と で居た。 で居た。

(三百二)

脚の断 こましよ、旅の恥は獲き捨て だっ軍平の擒になつて居たことを思ふと、この方が、どれ だけ安心か知れない。その中 にはまた、浮ぶ割もあるであ らう』

若殿膝栗毛

中川雨之

越

『なんだい、そんな話、つま らないぢやないか』と、魏代 であつた。

を は、頭取の金さんと呼ぶ江戸 生れの男であつた。 『それがね、大きな躍ぢや言 へねえんだが、切支丹の浪人 の吟味なんですよ』 をれば、金さんの壁であっ それば、金さんの壁であっ

は、まるで手に取る如く聞き廻してゐるだけであつた、引幕の古いのを、ズッと壁一重といつでも、席一枚 「名前は?」

ネオ肝精五大特置

精の油肝

は代時の油肝い難み 。服

すてスキエの油肝いよみ服は劑本



製箱 工場古物間屋河 湖 彩 社 電 3 二四八四 潮 彩 市 大場古物間屋河 1 三五四番 北 電 3 二三五四番 北 電 3 二三五四番 北

さらいふ考へが、香鳥を力づけた。そこで彼女は一生懸った。そこで彼女は一生懸って来る中に、それでも熟心はな役者として舞台に出られるとな役者として舞台に出られると

日日

電·三田士富

(曳則書郵設三銭を要す)

新京ドスレメーカー研究所

新京興安通三-菊地ピル三階

上海市密勒路八號 天津市常盤街常盤上水東市山縣通七番地大連市山縣通七番地



大和運輸公司 震戦が譲歩の準備者の 機能を かいる 電の される (本) 大和運輸公司 トラツク に依る

安東、撫順、新京產 白米各產地米 全 野瀬米店

電話及金融 融即時・長期秘密 (制用の方は) 荻本電話店

と顔を叩いてるた香鳥の、白と顔を叩いてるた香鳥の、白と顔を叩いてるた香鳥の、白を顔を叩いてるる手が、パッタリと止まつた。 壁一重となりの、座長動代の部屋から、洩れて來る話

で来た。

は、 乗るかそるか、といふ事は、 乗るかそるかで、 御婆美として、 三寶に一ばい小判が頂けるかも知れませんや。 鬼角を

古光堂療院

見電話

永樂町三ノー-ノ四 電 3・5909番

■2 10八五 | 日本日へ ・ 大を求めたき者 | 共に本食へ ・ 失業路頭に迷ふ者共に本食へ

自疆會

効あり御試猟を乞ふりウマテス 吉光堂療院

特効薬安心散 經病 あんま 東二族通三年

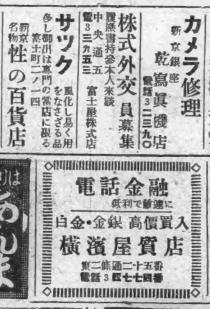
中小商工金融

輕便迅速

東省實業株式會社

東拓ビル内 (電2四九一七)

新京特別市大同大街四〇大號





午前授

業

イピスト養成



ほねつざ お茶道具はお茶道具は 中央通(大阪海路積)中央通(大阪海路積) お るかり度灸









普涵タイプライター 大 學 隨 時 規則書進呈 の五號 灣洲直賣所



央踊り

帳簿專門

お茶

7

最新 H



振谷大阪七六二五三番

